

目指せ!海上保安官

海上保安学校「情報システム課程」のご案内

海上保安学校情報システム課程とは？

海上保安庁に所属する**船艇及び航空機の通信士、灯台等の保守点検及び工事設計**等の業務を行う職員を養成する海上保安庁が運営する教育施設の一課程です。

京都府舞鶴市にある海上保安学校で、海上保安官として必要な知識と体力を養うとともに、**情報通信業務及び海上交通業務に関する専門的な教育を2年間受けます。**

その特徴は？

○ 多数の資格を取得！

無線、電子工学の知識がない方でも2か年の学習で高度な専門知識が身に付きます。

学習の成果として、第二級陸上無線技術士の取得を目指します。

卒業と同時に第三級海上無線通信士や航空無線通信士などの無線に関する資格を取得できます。

また、在学中に一級小型船舶操縦士を受験することができます。

○ 入学と同時に**国家公務員の身分が保障**(海上保安大学校、海上保安学校他の課程共通)

毎月約14万円の給与のほか、ボーナスも年2回支給されます。

また、国土交通省共済組合員としての社会保障が受けられます。

卒業後は？

卒業後は、**巡視船の通信科(海上勤務)と海上保安部交通課(陸上勤務)で業務を交互に経験**します。その後、本人の適性及び希望を踏まえ、それぞれの道を究めていきます。また、業務経験と選抜試験により、海上保安大学校特修科での研修を経て、幹部へ登用される道も開かれています。

情報通信業務(巡視船の通信科)

巡視船通信科乗組員として、様々な通信機器を使用して、他の巡視船艇や一般船舶、陸上通信所などと通信を行い、情報交換や情報提供を行うとともに、海難救助・警備・犯罪捜査の業務を行います。

海上交通業務(海上保安部交通課)

海上保安部交通課職員として海上交通の安全を守る業務として、**灯台などの航路標識の管理**、港内での工事作業に対する許可や、海難を防止するための指導・啓発活動を行います。



巡視船



巡視船での通信



港長業務



航路標識の管理

試験科目は？

一次試験：基礎能力試験、学科試験(数学、英語)

二次試験：人物試験、身体検査、身体測定、体力検査

募集人員・試験日程は？

募集人員

約60名

募集期間

平成30年7月17日(火)～7月19日(木)

(インターネット申し込みは7月26日(木)まで)

試験日

・一次試験 9月23日(日)

・二次試験 10月16日(火)～25日(木)のうちの1日

最終合格発表

11月20日(火)

海上保安学校



詳細は、[海上保安庁ホームページ\(http://www.kaiho.mlit.go.jp\)](http://www.kaiho.mlit.go.jp)をご覧ください。